

# 第1回中央委員会

## 2014年春闘要求(案)を承認! 第40回臨時大会の議案を決定!

2014年2月9日(日)9時より、東洋交通2014会議室にて第1回中央委員会が開催されました。

筒井副執行委員長より開会の挨拶、次に議長・書記の選任を行いました。議長には鈴木正徳氏、書記には高田知義氏が任命されました。

続いて、福島書記長より中央委員の出欠状況の報告がありました。

定数16名中、出席12名、欠席4名、委任状3通にて組合規約 第18条 ④ 中央委員会は構成員の3分の2以上の出席を以て成立し、議事は出席中央委員の過半数の賛成で決し、可否同数の場合は議長がこれを決する。

規約に基づき、第1回中央委員会は成立していることを鈴木議長が宣言しました。



挨拶する菊池執行委員長

### 【菊池執行委員長の挨拶】

今回の中央委員会は2014年春闘の要求決定がメインとなりますが、上部団体からの脱退、及び新たな上部団体への加盟について、臨時大会に提案する重要な内容を決議して頂きます。

初めて参加する中央委員の方もいらっしゃるのですが、先輩の中央委員の方はそのように進めているのかという見本を見せて頂き、新しく中央委員に任命された方は30名に1人の代表としてここにいます。という自覚を持って発言して頂きたいと思っております。



議長には、鈴木正徳氏(左) 書記には、高田知義氏(右)

情勢につきましては、1月27日に新法が施行され、それと同時に特定地域だったところが全て準特定地域に基準を下げられてしまったという状況です。4月には運賃の問題、消費税の転嫁に伴う問題があるので、その後特定地域が決まると言われております。

現状では、準特定地域にされてしまうと新規参入や、一定の条件を満たせば増車ができるというふうなことも可能な状況です。全体が減車の方向で進んでいるのに、自分の所だけは増車をしたと身勝手なことを言う事業者が増えてきます。私たちの賃金・労働条件を改善するために、引き続き利用者、事業者、行政、地域協議会に働きかけ、特定地域に指定させる運動を強化して参りますので、「理解、ご協力をお願い致します」。



中央委員各自が「責任・自覚」を持って頂きたい事から今期から、中央委員に「任命証」を渡しました。(任命証を受け取る鎌田中央委員)

### 『2014年春闘要求書(案)』について



春闘要求(案)を提案する 福島書記長

#### ① 2014年賃金要求について

- 一、能率給の「足切り」を、現行45,000円から42,000円に減額する事。
- 二、残業時に能率給の越高が、残業1時間当たりに加算される金額を、4,000円から減額変更する事。

- ② 賞与部門  
賞与の「特別配分」に「7,500キロで35,000円を支給する」ランクを設ける事。

#### ② 労働補償の要求

- ① 「羽田定額」は、メーター料金で賃金計算を行う事。
- ② 「A空転」の補償は、現行方式から、営業に入る方式に変更する事。

#### ③ 高速道路帰路料金の会社負担の要求

- ① 首都高速の帰路料金は全額会社負担とする事。
- ② 外郭環状線の帰路料金は全額会社負担とする事。
- ③ 圏央道の帰路料金は全額会社負担とする事。

#### (4) 「一律3割の減車」要求

(5) スタッドレスタイヤの4輪装着の要求(12月〜3月)

#### 質疑応答

● 首都高速全額会社負担は是非お願いしたいです。(藤田渉三氏)

(執行部 首都高速については以前より改善されています。(5号線等)親会社よりもっと悪い条件ですので、それ以上取るのには難しいですが、努力します。現状は営業圏までは出ていますので、営業圏内に入ったら仕事をして下さい。)

● チケット手数料については精勤給とのバスターですが、今回、「足切り」残業腰高についての要求は何とバスターするのですか?(小野純一氏)  
(執行部) 何かとバスターする予定ではありません。

● 祝日の「足切り」を下げることは出来ないのですか?(佐藤幸雄氏)

(執行部) 都内の大部分の会社は、オール歩合賃金なので、土日祝日の足切りを下げて稼働率を上げようとしています。しかし、東洋交通は時間賃金の高い基本給があり、月間平均45000円以上で能率給がつく賃金です。祝日だけ足切りを下げることは考えていません。



真剣に議論する 中央委員の皆さん

(裏面につづく)